

東京学生寮とは・・・

公益財団法人香川育英会東京学生寮は、男子60室、女子40室の計100室の寮室があります。

寮には、香川県の出身者で東京又はその近郊の4年制大学に進学している多くの学生が共同生活を行っており、勉学はもとよりサークル活動や社会体験活動などにも積極的に取り組み、充実した学生生活を送っています。

寮では、春に新入寮生歓迎会、クリスマスシーズンに寮祭、卒業生を送る小旅行などのイベントを行うなど、寮生同士のコミュニケーションを図っています。

現在入寮している先輩方の声を、ご紹介します。もっと知りたい!という方は、機会がありましたら、ぜひ見学にお越しください。

☆☆ 寮生インタビュー ☆☆



入寮1年目 男性

上京してきて初めてのことでだらけの生活は大変なところもありました。しかし、寮に帰ってくると同郷の友人達がいて安心感があります。朝食と夕食はとても美味しく、水回りも清掃員さんに掃除していただけるので快適です。この寮での生活は社会に出るための自立第一歩になると思います。

東京学生寮は寮生全員が同じ香川県出身であるため、東京での新生活についての不安や悩みを友人に相談しながら、自然と新しい環境に慣れることのできる素晴らしい場所です。朝・夜の美味しいご飯や去年新しくなったばかりのお風呂場など寮内環境も整っており、快適に過ごせます。また、新入生歓迎会やクリスマス会など寮内イベントもあり、一生の友人ができるでしょう。



入寮2年目 男性



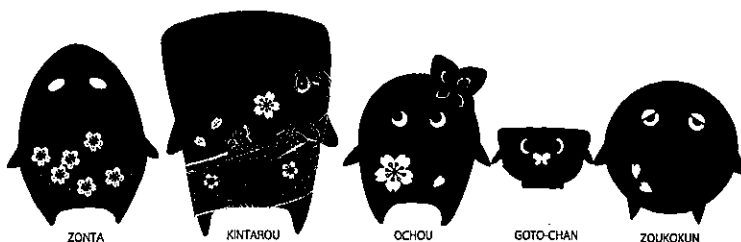
入寮1年目 女性

寮に入るまでは、東京で始まる新生活に不安を感じていました。しかし、寮で香川県出身の友達や先輩に出会えたことで、すぐに慣れることができました。今では1人の時間を保ちつつ、食堂などの共有スペースで友達と集まって語り合うなど、楽しい日々を過ごしています。寮では友達だけでなく、寮長さんなど多くの人の支えがあるので、一人暮らしが不安な人にとって最適な環境だと感じています。

寮ではすぐ近くに友達がいるため、上京してすぐのときは特に、寂しさや不安を軽減させてくれます。また、朝と晩はバランスのとれたおいしいごはんを食べることができ、体調を崩した時にはおかゆもつくってくれます。年に2回ほど行われる行事ではいつもより豪華なごはんが食べられます。それに加え、立地が良いため有名なお店や場所へとても行きやすいです。



入寮2年目 女性



URUSHI NO YOUSEI

香川県立高松工芸高等学校デザイン科(H26卒)は、誇るべき香川の宝である漆芸をもっとPRし知名度をあげるとともに、技術・文化の継承や香川の漆産業の発展・地域の活性化を願い、架空の会社「麗漆社」を立ち上げ、香川漆芸の五技法のゆるキャラをデザインしました。

麗漆社
URUWASHI